

第2表

学校名 小04 日野市立日野第四小学校

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ① できる楽しさ・分かる楽しさを味わわせるため、体験を重視した自力解決の時間を確保した上で、全学年におけるマイプランスクール(探究学習)を各教科等において促進する。また、認められる楽しさを味わわせるため、対話と学びのアウトプットの場を設定し、保護者や地域社会へ発信する。マイプランスクールでは、児童一人一人に合った多様な学びと学び方の実現と学びに向かう力を育む授業づくりとリフレクションを行う。
- ② 学力調査の結果を踏まえ、学力の基礎基本を定着させるため、第3学年以上の算数科習熟度別指導の充実させるとともに、各教科における一人1台学習者用端末の活用を図る。
- ③ 指導と評価の一体化のため、組織的に学習評価の「妥当性」「信頼性」を高めるなど、学校全体として学習評価を充実させる。

イ 特別の教科 道徳

- ① 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるため、「考える道徳」「議論する道徳」となるよう道徳科の授業改善を行うとともに、教育活動全体を通じて道徳教育を充実する。
- ② “いのち”の教育(心の教育)のため、道徳授業地区公開講座、わくわく保護者会等における多様な関わりの中で対話することを通して、学校と家庭・地域とが道徳教育を協働する。

ウ 外国語活動

- ① 日本と外国の言語や文化を体験的に理解させるため、外国語活動の授業を充実し、より英語に親しませる。
- ② 国際的なコミュニケーション能力の素地を養うため、専科担当教員とALT(英語指導補助員)が連携して学習活動を進める。また、ICT機器の活用を図って海外とオンライン交流をしたり、外国人を招致して対面交流をしたりして体験活動を充実させる。

エ 総合的な学習の時間

- ① 学ぶ力・地域社会に貢献しようとする態度を育てるため、地域を学びのステージとした教育資源を活用した探究学習を推進する。
- ② SDGs未来都市に生きるひのっ子の創造力を育むため、四小SDGsカレンダーを活用して総合的な学習の時間やマイプランスクールを充実させる。

オ 特別活動

- ① 心身の発達と個性伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養うため、学校行事、学級会、たて割り班活動、キャリアパスポートの活用を通して、みんなで話し合って自分たちで学校をつくる活動や児童一人一人の思いや願いをかなえる活動を充実させる。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生 活 指 導

- ① 自己指導能力を育むため、「新四小スタンダード」に取り組む。
- ② 相談体制の充実のため、校内支援委員会、ステップ教室、スクールカウンセラー、リソースルーム、エール、警察、児童相談所、子ども家庭支援センター、わかば教室等と連携・協力する。
- ③ 不登校新規ゼロを目指し、欠席1日目から電話連絡、3日目以降は家庭訪問やICT機器を活用した学びの支援を行う。また、問題行動の未然防止、早期対応のため、生活指導夕会での情報共有、家庭訪問を実施する。
- ④ いじめ見逃しゼロ・SOS見逃しゼロを目指し、全学級で「いじめに気付くチェックリスト」を活用する。また、日野第四小学校いじめ防止基本方針に基づき、日野第四小いじめ対策委員会を中心に、未然防止、早期発見、早期対応に組織的に取り組む。
- ⑤ 事故等の要因や防止について理解し、日常生活において進んで安全な行動ができるようになるとともに、周りの人の安全にも配慮できるようにするために、家庭や地域社会との連携を図りながら、学校の教育活動全体を通して安全指導を行う。
- ⑥ 互いを尊重し、自他のいのちを守るため、「安全教育プログラム」等を活用し、生命(いのち)の安全教育を充実させる。

イ 進 路 指 導

- ① 社会的・職業的自立のため、長期的展望に立って、児童の「なりたい自分」に近づくことができるよう、「キャリアパスポート」を活用した進路指導を充実させる。
- ② 学校と家庭との連携を深め、義務教育9年間を見通し、円滑な進学を図るため、かしのきシートを活用する。

(3) 特色ある教育

- ① 一人一人に合った多様な学びと学び方の工夫のため、“マイプランスクール”として、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践研究の推進を図る。
- ② 情報モラルを身に付けさせるため、各教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の年間指導計画に情報モラル教育を位置付け、学校教育全体で情報モラル教育を推進する。
- ③ 豊かなスポーツライフの実現のため、学校レガシー2020や体を動かす楽しさや心地よさプロジェクトに取り組み、運動する喜びや人と関わる喜びを味わわせる。
- ④ 新入生の互恵性を高めるため、第四幼稚園と連携し、「給食交流」「お祭り交流」等のスタートカリキュラムを充実させることで、円滑な学校生活の開始に資する。